

# 築山社協だより

第 43 号

平成25年 3月 1日

築山地区社会福祉協議会

発行人 加藤 俊悦  
(題字：茂林 憲子)

## おもてなし

24年度築山地区敬老会で、参加の高齢者をもてなす榎山合唱クラブ、榎山コミセン。吉田孝導(南通宮田)コンダクターを始め、メンバー半数も敬老会該当者です。「あの丘越えて」など美しいハーモニーが披露されました。

▼3面参照(編集委員 北條 晃)



## 安住のわがまちに寄せて

築山地区社会福祉協議会

副会長 神田 武

過日の某紙に「敢當石」についての記述がありました。その文面の一部を紹介します。「皆さんのお近くに「敢當石」もしくは「石敢當」と刻まれた石塔がないだろうか? この文字を石に刻む習俗は江戸時代には中国から伝来し、南西諸島を経由して広まったといわれている。「敢當」とは「向かうところ敵なし」という意味で、邪気を祓うまじないに、T字路の突き当たりや門の前などに立てたといわれている。……以下略。

伝来のルートから沖縄や九州に多く存在するのは理解できませんが、遠く離れた北国の秋田にも及び、そしてなんと榎山とその周辺に集中している事実です。前置が長くなりましたが、要は先達の安心安全のまちづくりへの願望がこの「敢當石」に託されています。

医王院前町や築地附近の路傍に鎮座し、築山地区を見守っております。城下町として士族が多く住み、私塾も数百年前に設立され文武両道に秀れた気風があります。

近代でも、当時としては先進的に女性の地位向上に尽された人、植林で自然災害の防止に困難を克服して貢献した人、文化・芸術で

名を馳せた人、政界で国運を司どった人等有為な人材を輩出し、その石碑や標柱を地区内に見るに付け、その威徳が偲ばれます。歴史と伝統が脈打っているこのまちに誇りをもち、郷土愛が募ります。山と川のある安らぎの空間ですが自然は牙を向くこともありました。榎山のけつ浸しと椰揄されたみずあまし(洪水)で道路は水路と化し、川舟に乗った消防団が火の用心ならぬ水の用心で警護に当られました。私は盥に乗り下駄で濁水を漕ぎはしゃいでいました。

閑話休題。この災害は地区の人々の結束を強め協力態勢で互助の精神が培われたことでしょう。昭和13年の雄物川の放水路貫通で、さしもの水魔も鉾を収めました。また蛇行していた太平川もシヨートカットされ残存河床が面影を留めています。住居表示で町名が変りましたが、旧町名は顕然として存在し機能しています。

築山地区には69町内会がありますが、地区を最も熟知しているのが各町内です。当社会福祉協議会では頼りになる絆で、遍く福祉の光が及び、さらなる住みよいまちづくりを共々目指しましょう。

# みんなので減災

## 大震災 津波 風水害

### 築山地区防災シンポジウムを開催



左から藤原賢一、太田昭夫、浦野真弓、斉藤孝雄の皆さん

東日本大震災後に風水害や土砂災害などが日本列島各地で頻発し、防災・減災に対する備えを地域単位で一層強化する必要性が高まっています。築山地区ふれあい協議会では、23年度に引き続き24年10月13日(土)午後、築山小学校体育館で「防災シンポジウム～みんなので減災～」を開催しました。

初めに、主催の築山地区ふれあい協議会・高桑博会長から、「震災に限らず過去に大きな水害に見舞われた地区でもあり、相互助け合いの精神で防災意識を高める必要がある。防災への知識を得ることで3分の1は災害を小さくできる。本日はそのための学びの機会としたい」と、趣旨説明を含めた挨拶がありました。

次いで、築山地区社協加藤俊悦会長より、配布資料をもとに次の項目の話題が提供されました。

○津波の速さと規模○水害・土砂災害の前兆現象○太平洋増水の避難水位判断○データ放送や携帯電話によるリアルタイム情報の収集法○災害時における家族との連絡方法○今後の県防災アドバイザー活用など。

シンポジウムでは、当社協の樋渡久孝副会長がコーディネーターを務め、4名のシンポジストにより各組織や学

|                     |                                  |
|---------------------|----------------------------------|
| シンポジスト<br>(発言順・敬称略) | 築山地区自主防災連絡協議会<br>会長 藤原 賢一        |
|                     | 三枚橋町内会・同自主防災組織<br>会長 太田 昭夫       |
|                     | 秋田市立築山小学校<br>校長 浦野 真弓            |
|                     | 秋田市立秋田南中学校<br>校長 斉藤 孝雄           |
|                     | コーディネーター 樋渡 久孝<br>築山地区社会福祉協議会副会長 |

校側から、それぞれの取り組みや課題などが紹介されました。

#### 築山地区自主防災の現状と課題

藤原賢一さん 平成20年11月に築山地区自主防災組織が立ち上がった。現在の本地区の結成率は約57%（秋田県68%）。これまで行った研修や訓練は、初期消火、テント内煙中避難、AEDによる心肺蘇生、応急担架搬出、非常時の炊き出し研修など。組織率の拡充が課題であり、未結成の町内会では市が作成しているマニュアルをもとに組織を立ち上げてほしい。組織を増やし訓練を重ねることで被害を最小化できるはずだ。

#### 町内自主防立ち上げの現状と課題

太田昭夫さん 74世帯で8班編成の町内会。町内会役員が自主防災組織役員を兼務している。自助・共助の意識を高めるために立ち上げた。課題として、災害時の避難指示の発信や伝達方法、緊急時の人員確保、高齢者・要援護者の救助の手順、防災資材の保管場



地区参集者から津波襲来時の避難場所などに関する質問も提起されました

所などがある。自分たちの命は自分たちで守るという意識で進めている。

#### 震災時の対応と防災教育の見直し

浦野真弓さん 東日本大震災で、いざという時の的確な判断、日頃の防災訓練の必要性、地域連携の重要性を強く感じた。防災教育は年間12〜16時間実施。避難訓練、引き取り訓練、雪国防災訓練等を行っている。大災害発生時には保護者へ「斉メール」を送信。「誰に・どこへ」を確認後に保護者や家族への引き渡しする。

#### 災害時の家庭、関係機関との連携

斉藤孝雄さん 非常時の下校については、学校のみでの対応では生徒の安全確保が万全でないため、家庭・地域からの協力も必要であることが分かった。「学校災害対応マニュアル(冊子)」を分かりやすく改訂。24年度から津波想定訓練も実施。校内3階及び4階の避難スペースの適否も含めて専門機関からの助言を要請予定。本校は地域住民の避難受け入れ先であり、地域全体の避難訓練も必要。

◆シンポジストの発言後、共和町・牛島橋通り両町内会の合同防災訓練計画(4面参照)や築山地区民生児童委員協議会・佐々木洋吉会長から、民生委員も障がい者など一人での避難移動が困難な方々を調査・把握している状況報告(6面に関連記事)がありました。地区防災は、多くの命と安全を守る最重要課題であり、当日の参集者は約50名でしたが、今後も地区集会を開催する予定です。

# 地域活動

## 写真で見るまちの動き

冬の風物詩、「楢山かまくら祭り」は例年どおり楢山太田町で開催され、築山小学校児童の「2分の1成人式」（写真右）も行なわれた。バックの雪室のように見える「かまくら」は、雪壁によしずの屋根をかぶせた造りで「横手かまくら」とは趣を異にする。2月8日、吹雪の中、5時間掛かりで「かまくら保存会」の高齢者たち（同下右）が仕上げた。内部には、水神様の祭壇（同下左）が備えられている





昨年秋開催の第29回榎山コミセン祭りから。コンパス（パッチワーク）グループ（毎月第2、第4水曜日に例会）はタペストリー、バック、小物などを出品した。他のサークル出品は陶芸、着付、いけばな、書道、写真、絵画、木版画など（10月27・28日）



日頃運動不足気味の高齢者を対象にした当社協主催の軽スポーツ大会（交流会も兼ねる）の1コマ。4組に分かれ2分間玉入れを行い数が多く入った組を勝とする。他にボール運び、缶積み、障害物競走等のゲームもくり広げられた（12月2日・榎山コミセン）

## 築山地区



榎山南中町のみどり保育園（社会福祉法人秋田南福祉会・人見和男理事長）は、昨春リニューアルに着手していたが、12月2日竣工式が行なわれ、来賓の穂積 志・秋田市長が祝詞を述べられた



昨秋「ラリー」に参加した秋田地区交通安全協会榎山支部メンバー一同（大潟村南の池記念公園）

昨年10月20日、「榎山共和町」と「牛島橋通町」、両町内会合同の第1回自主防災訓練が太平洋近くの加賀谷街区公園で実施された。市防災安全対策課の指導によるもので、初期消火訓練（写真右）や、吹き出し（同左）の他、煙中避難、応急救護など、両町内会から約30名が訓練に参加した

# 要援護者の見守り・避難誘導は

## 近隣同士「みんな支え合い」

各地区の民生児童委員協議会では、秋田市福祉保健部から委託を受けて、「災害に備える地域づくり」のため、毎年10月1日現在で、地区内高齢者の実態調査を実施しております。

築山地区民児協でも、各民生委員は担当区域（町内会）毎に対象者の同意を得たうえで「避難支援対象者名簿」を作成します。これは災害時の備えとして本人や家族の手助けだけでは、安全な場所に避難するのが難しい方が対象です。

24年度築山地区の推定人口は、9818人（4197世帯）です。

### 高齢化・核家族化の進行

一般的に高齢者は災害弱者といわれますが、65歳以上は2864人（地区人口の約30%）、うち安否確認が必要とされる75歳以上の一人暮らしは361人、80歳以上の高齢者のみの所謂、老々世帯は136、ねたきり高齢者を抱える世帯は16でした。

これらの方々の名簿は、プライバシー、個人情報保護のために「災害情報伝達」「避難誘導支援」の目的以外の利用は出来ないことになっています。各民生委員は日頃適当な間隔で、65歳以上の一人暮らし等への見守り活動を展開しております。

地域では、町内会三役や自主防災組織の皆さんが、情報を共有し、安否確認や安全な場所までの移動をお手伝いします。また普段から避難方法などを確認するなど地域の防災体制整備に活用されるものです。

大災害時一人も見逃がさない体制！各地域では発生直後のすばやい対応こそが、私たちの命と暮らしを守る鍵となります。

いささか語弊があるかも知れませんが……（合掌）。

### 煎茶を贈呈 高齢者の安否確認

築山地区社会福祉協議会では、1月中旬に歳末たすけあい募金の一部を活用、民生委員等と連携して地区内高齢者へ「煎茶」を贈呈しながら見守り活動を実施しました。

対象者は75歳以上のひとり暮らし368人、80歳以上の高齢者のみの家庭145世帯、ねたきり高齢者17人の計530人（世帯）でした。これは安否確認を兼ねた激励訪問活動です。

が、町内会長、民生委員と一介の生身の人間、外出不在のこともあります。スパーマンではないのです。一旦緩急有れば、要援護者に手助けする前にまず我が身、我が家族、我が家の安全を見届けることになるでしょう。

さらには刻々出される気象・浸水情報や地震・津波情報、避難勧告などを見極めます。視野を広げ、日中独居者乳幼児、鍵っ子、障がい者、妊婦等にも目配りが必要でしょう。

公助にも限界があります。東日本大震災では最期まで持場に止まり、避難を呼びかけ、殉職された崇高な役場女子職員のオペレーターがおられました……（合掌）。

### 向こう三軒両隣りの認識

そこで隣近所の皆さんがお互い同士協力し合う共助の基盤を造り出すことが必須になります。多くの町内会には下部組織として「班」がありますが、更にコンパクトな「向こう三軒両隣り」では、お互いに「もしもの時」に、家族構成や、誰が自力で避難出来ないか頭の隅に承知しているはずですよ。

回覧板を玄関を開けて手渡す時、

“寒くなりましたがお元氣ですか？”  
などと声かけ合う近隣同士、普段の適度なお付き合いが、いざ！という場合の共助につながるのでは……。地域みんな支え、温かい、助け合いの心が、災害に強い近隣社会を造り、救える命“を守るのです”。

（北條 晃）

### 地区への「ご芳志」

（平成24年4月～平成25年2月）

#### 〇ご香典返し

50万円 （亡夫 清孝さん）

榊山川口境 前澤 和子 様

5万円 （亡夫 四郎さん）

南通みその町 石川 朝子 様

5万円 （亡父 昇さん）

榊山南中町 工藤 尚 様

#### 〇篤志

2万円 榊山南中町 加藤 俊悦 様

1万円 川元むつみ町 廣島ふとん店様

雑巾400枚 榊山太田町 佐々木優子 様

佐々木優子様からは、長年に渡って手作りの雑巾をご贈りいただいておりますが、このたびは川口デイサービスセンターと若竹学園へお取り次ぎしました。

24年度も各位からご芳志をいただき厚く御礼を申し上げます。皆様の善意を地域の福祉に役立たせていただきませう。

ご香典返し、篤志寄付はお気持ちのある方が皆さんがお住みの当地区社協にご協力下さいますようよろしくお願いいたします。

# 平成24年度各種募金運動実績及び社協会費納入報告書

町内会・各学園等、皆様のご協力に厚くお礼を申し上げます。

単位：円

| No | 町内会名      | 日赤社資   | 赤い羽根   | 歳末募金   | 社協会費   | No         | 町内会名     | 日赤社資      | 赤い羽根      | 歳末募金    | 社協会費      |
|----|-----------|--------|--------|--------|--------|------------|----------|-----------|-----------|---------|-----------|
| 1  | 宮田        | 55,000 | 70,000 | 18,200 | 50,400 | 39         | 登町東部     | 19,500    | 46,000    | 7,150   | 19,800    |
| 2  | JR宮田自治会北  | 10,000 | 24,000 | 8,000  | 28,800 | 40         | 登町中央部平和会 | 10,000    | 21,000    | 4,290   | 12,240    |
| 3  | イーストハイム宮田 | 10,000 | 33,000 | 6,890  | 19,800 | 41         | 登町西部     | 24,000    | 28,000    | 6,000   | 16,560    |
| 4  | 築地北町      | 19,000 | 16,600 | 3,640  | 9,360  | 42         | 亀ノ丁栄町    | 8,500     | 17,000    | 2,500   | 6,120     |
| 5  | 築地東上町     | 16,500 | 17,600 | 3,640  | 10,080 | 43         | 餌刺町      | 28,000    | 34,000    | 10,000  | 28,800    |
| 6  | 築地窪町      | 15,000 | 16,900 | 2,340  | 6,840  | 44         | 九郎兵衛殿町   | 35,000    | 35,000    | 8,000   | 19,800    |
| 7  | 築地上本町     | 26,500 | 52,000 | 6,500  | 19,080 | 45         | 筑町       | 27,000    | 24,000    | 7,800   | 21,600    |
| 8  | 築地下本町     | 24,500 | 16,200 | 5,330  | 15,840 | 46         | 三枚橋町     | 44,400    | 61,400    | 9,620   | 26,640    |
| 9  | 築地中町      | 11,000 | 12,000 | 6,500  | 18,000 | 47         | 愛宕下東丁    | 8,500     | 13,200    | 2,210   | 6,120     |
| 10 | 築地西町      | 10,000 | 14,000 | 2,470  | 7,200  | 48         | 愛宕下西丁親交会 | 24,000    | 28,800    | 5,590   | 15,120    |
| 11 | 築地睦会      | 6,500  | 4,500  | 3,300  | 3,240  | 49         | 愛宕下南丁    | 11,000    | 13,200    | 2,860   | 7,920     |
| 12 | 榎山本新町上丁   | 14,100 | 20,180 | 5,200  | 14,400 | 50         | 愛宕下北丁    | 17,500    | 22,500    | 5,200   | 12,600    |
| 13 | 榎山本新町下丁   | 24,000 | 31,000 | 5,600  | 14,400 | 51         | 愛宕下中丁    | 16,500    | 19,600    | 4,030   | 11,160    |
| 14 | 榎山上本町     | 10,000 | 23,000 | 5,000  | 6,000  | 52         | 城南町      | 27,900    | 37,800    | 8,190   | 22,320    |
| 15 | 榎山本横町     | 8,000  | 16,000 | 3,000  | 12,240 | 53         | 金照寺山     | 15,500    | 10,000    | 10,000  | 12,600    |
| 16 | 内木町       | 16,500 | 17,000 | 4,420  | 11,880 | 54         | 榎山寺小路北部  | 9,700     | 10,700    | 3,700   | 13,320    |
| 17 | 榎山本町下丁    | 10,500 | 12,600 | 2,730  | 7,560  | 55         | 榎山寺小路南部  | 13,000    | 5,000     | 5,000   | 14,400    |
| 18 | 榎山古川新町    | 12,000 | 81,000 | 20,000 | 47,160 | 56         | 城南みなみ    | 9,000     | 26,000    | 5,000   | 10,400    |
| 19 | 百石橋通り     | 16,500 | 15,000 | 3,000  | 8,280  | 57         | 榎山石塚谷地   | 6,000     | 24,000    | 6,000   | 14,040    |
| 20 | 掛取町親睦会    | 10,500 | 19,000 | 5,000  | 10,800 | 58         | 榎山(大元町)  | 79,000    | 97,000    | 25,000  | 36,000    |
| 21 | 末無町       | 26,000 | 32,600 | 10,270 | 28,800 | 59         | 榎山石塚町    | 33,000    | 34,000    | 12,000  | 32,400    |
| 22 | 医王院前町     | 20,700 | 24,600 | 6,240  | 16,560 | 60         | 榎山石塚新町   | 54,500    | 48,000    | 20,000  | 57,600    |
| 23 | 榎山広小路     | 12,250 | 11,600 | 3,510  | 7,560  | 61         | 太田町本町    | 17,500    | 19,700    | 4,030   | 11,160    |
| 24 | 榎山虎ノ口新町   | 24,000 | 29,000 | 9,100  | 25,000 | 62         | 太田町山水会   | 18,800    | 27,600    | 4,030   | 11,160    |
| 25 | 南新町       | 85,000 | 85,000 | 24,700 | 61,200 | 63         | 太田町東部    | 7,000     | 18,000    | 3,900   | 10,800    |
| 26 | 森林管理局第一   | 12,000 | 12,600 | 2,730  | 7,560  | 64         | 太田町睦会    | 4,000     | 7,800     | 1,690   | 4,680     |
| 27 | 太平        | 10,000 | 11,400 | 2,470  | 7,200  | 65         | 太田町栄町    | 9,000     | 9,600     | 2,210   | 6,480     |
| 28 | 牛島橋通町     | 7,800  | 47,000 | 8,000  | 22,680 | 66         | 太田町南町    | 13,500    | 21,200    | 3,510   | 9,720     |
| 29 | 牛島橋通り南部   | 16,500 | 19,200 | 4,030  | 11,880 | 67         | 太田町新町    | 14,000    | 27,000    | 3,770   | 10,800    |
| 30 | 榎山共和町     | 6,000  | 7,000  | 1,300  | 3,600  | 68         | 太田町旭町    | 11,500    | 12,800    | 2,340   | 6,480     |
| 31 | 榎山下浜町     | 33,500 | 64,400 | 10,000 | 23,040 | 町内会合計      |          | 1,334,150 | 1,882,140 | 446,430 | 1,160,640 |
| 32 | 川口境西部     | 16,000 | 25,000 | 4,030  | 11,520 | 日赤奉仕団築山分区  |          | 10,000    |           |         |           |
| 33 | 登町南部      | 49,000 | 63,000 | 13,000 | 35,280 | 秋田南中学校生徒徒会 |          |           | 25,521    |         |           |
| 34 | 川口境東部     | 32,000 | 44,000 | 10,000 | 27,000 | 築山小学校児童会   |          |           | 10,622    |         |           |
| 35 | 若草団地      | 10,000 | 51,860 | 13,000 | 39,600 | 城南園        |          |           | 6,067     |         |           |
| 36 | 入川橋       | 12,500 | 14,400 | 3,120  | 9,000  | その他        |          | 50,000    | 8,614     |         | 1,800     |
| 37 | 十軒町       | 9,500  | 17,400 | 2,470  | 6,840  |            |          |           |           |         |           |
| 38 | 米沢町       | 8,500  | 10,600 | 2,080  | 6,120  | 総計         |          | 1,394,150 | 1,932,964 | 446,430 | 1,162,440 |

# 慶祝

おめでとうございます  
心より祝福いたします

平成24年8月以降

(敬称略)

## 秋田県知事表彰

平成24年9月25日付

◎社会福祉功勞 (民生児童委員)

樋渡 久孝 (太田町)

秋田市社会福祉協議会会長表彰

◎社会福祉功勞 (築山社協副会長)

神田 武 (南中町)

秋田県共同募金会長表彰

◎奉仕功勞 佐藤 正 (太田町)  
永作 稔男 (共和町)

秋田県児童館連絡協議会会長表彰

◎児童館運営 樋渡 久孝 (太田町)

秋田市長感謝状

◎公民館活動 高橋 啓子 (南新町下丁)

秋田中央警察署長表彰

◎防犯功勞 永作 稔男 (共和町)

市民憲章推進協議会会長表彰

◎地区活動功勞

大宮 忠 (南中町)  
神田 武 (南中町)  
伊勢 定正 (築地)  
佐藤 哲郎 (南中町)  
佐藤 敏勝 (太田町)  
富川 有策 (共和町)  
高橋多紀子 (石塚町)  
鈴木 夏代 (寺小路)  
大久保捷子 (太田町)  
佐藤美智子 (宮田)

市緑化推進委員会会長表彰

◎緑化推進 小武海西子 (城南新町)  
菅原 良子 (榎山本町)

# 会務報告

平成24年8月～25年1月

8月8日 地区敬老会案内状を民生委員、町内会長に依頼し配布

敬老会祝宴における演芸依頼及び式典の来賓に案内状を送付

「市社協だより第55号」を町内会長の手を借りて全世帯に配布

9月2日 「築山社協だより第42号」を発行し、民生委員、町内会長の手を借りて全世帯に配布

9月5日 赤い羽根共同募金運動の研修会に会長が出席。共同募金説明会へ会長と事務局長が出席

9月8日 第2回グラウンドゴルフ大会を友の会の協力を得て築山小学校グラウンドで実施

9月15日 敬老会該当者全員に町内会長の手を借りて大判バスタオルの記念品と敬老会名簿を配布

9月17日 社協役員、民生委員の手を借りて地区敬老会式典及び祝賀会の準備

9月18日 恒例の地区敬老会を榎山コミセンで開催

9月25日 県民会館で行われた秋田県社会福祉大会へ参加。大会では樋渡副会長が社会福祉功勞で知事表彰を受彰

10月1日 赤い羽根共同募金運動推進

10月6日 第3回グラウンドゴルフ大会を友の会の協力を得て築山小学校グラウンドで実施

10月13日 築山小学校で第2回防災シンポジウム「みんなで減災」を開催

10月29日 市文化会館で開催の市社

会福祉大会へ参加。大会では神田武副会長が社会福祉功勞で受彰

10月31日 第4回グラウンドゴルフ大会を太平山グラウンドゴルフ場で実施

11月13日 地域内の老人クラブ、福祉関係諸団体に助成金を贈呈

11月15日 宮城県石巻、野蒜地区の被災地を視察する宿泊研修を実施

12月1日 歳末たすけあい募金運動の推進

12月2日 榎山コミセンで、ボール送りや玉入れなどの軽スポーツ大会と地域サロンを開催

12月5日 赤い羽根共同募金を市共同募金会へ送金

12月13日 市社協会費(116万2440円、3,229世帯分)を納入

12月14日 第一会館で開かれた秋田市7地区研修交流会へ役員4名が参加

12月25日 「市社協だより第56号」を民生委員、町内会長を介して全世帯に配布

12月26日 歳末たすけあい募金の地区配分会を開催し、募金運動で示された善意を、地域内の要援護世帯や母子家庭などの世帯に、一律5千円を民生委員を介して配布。また近隣の福祉施設(3施設)にりんご・みかんを贈呈

佐々木優子さん(太田町)から贈られた雑巾を川口デイサービスと若竹学園へ贈呈

1月中旬 歳末たすけあい募金の協力を得て、75歳以上のひとり暮らし、80歳以上のみの世帯とねたぎりの方にお茶を持参し、安否確認を兼ねた激励訪問を民生委員などの協力を得て実施

赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金運動実績報告書を町内会長へ配布

## 社協の定期総会開催予告

25年度の築山社協の定期総会は次のとおり開催します。

日時 4月27日(土)午後2時  
場所 榎山コミュニティセンター

## ◆編集後記◆

年が改まって正月気分も消んだ頃から、編集子は大詰の取材・執筆、写真トリミング、レイアウト、校正に取り掛かる。暦をめくると小寒は1月5日、大寒は1月20日、この頃が一番寒気の厳しい期間で、例年編集追い込みの時期とバッティングする▼今冬の秋田は7年振りの豪雪とか。家の周囲、生活道路などの雪かき、雪寄せで日頃の運動不足を一举に解消した御同輩も多かったのでは……▼2月4日は立春、三寒四温、イソップ物語の「北風と太陽」のように実際に春はすぐにはやってくる。寒い冬は続くが、小欄を脱稿すると心のどこかに「春近し」という気持が頭をもたげってくる。(北條 晃)

※訂正 前号・24年9月1日発行の本紙バックナンバー第43号は、誤りで、第42号と訂正します。

## 編集委員

北條 晃  
加藤 俊悦  
樋渡 久孝  
樋渡 久孝  
久孝  
連絡先(事務局) 樋渡 久孝